

13 働きたい、大人の発達障がいであっても（障がい者）

5 (ナレーター) 皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。今日は私、ハルがお届けします。

10 「福岡市障がい者就労支援センター」は、働きたい障がい者のために、仕事を開拓したり、職場に定着できるようにジョブコーチを派遣したりするサポート機関です。開設から18年、今では年間およそ3,500件の相談がありますが、近年、特に増えているのが発達障がいの方にかかわる就労相談です。

15 発達障がいの方は、働きたいという想いは強いのに、他者から「見えにくい障がい」のため理解されにくく、多くの方が苦しんでいます。一方、周りで働く人たちも、当事者が何に困り、何が苦手なのか分からず、企業も十分なサポートができないという現状もあります。

20 たとえばAさんの場合、パソコンのスキルや知的能力は非常に高いのですが、優先順位をつけるのが苦手で、たくさんの仕事が重なると、何から手をつけたらいいのか分からず困っていました。そこで、一度に複数の仕事を頼むのではなく、一つ一つ順番に指示してもらおうようにしたところ、本人

も見通しをもって持ち前の能力を発揮できたそうです。

25 またBさんは、音に対する過敏症があり、本人ががんばろうと思っても、周囲の小さな音もうるさく感じてがんばれない、という困難を抱えていました。そこで、机の周りを間仕切りで囲ったり、耳栓をつけて仕事をする仕事を職場に提案したところ、周囲の音が気にならなくなり、仕事に集中できるようになりました。

30 支援センターの黒田小夜子（くろだ・さよこ）さんは、次のように話します。

35 「発達障がいの特徴から苦手なことや得意なことに気づき、本人が『ああ、そうだったんだ』と自覚すること、そして、職場の方も理解することが大切です。相談に来られる方は、いずれは正社員として働きたいという希望があります。働くことは生きがいであり、何より、人生を豊かにします。」

40 （ナレーター）発達障がいがあっても、それぞれの持っている能力を発揮できるようにするため、ともに働く仲間として、環境づくりに配慮していくことが大切です。